

第 106 回

火山噴火予知連絡会資料

2007 年 2 月 16 日

東北大学大学院理学研究科

2001年ころから継続している傾斜・歪
変動傾向が、今期も続いている。

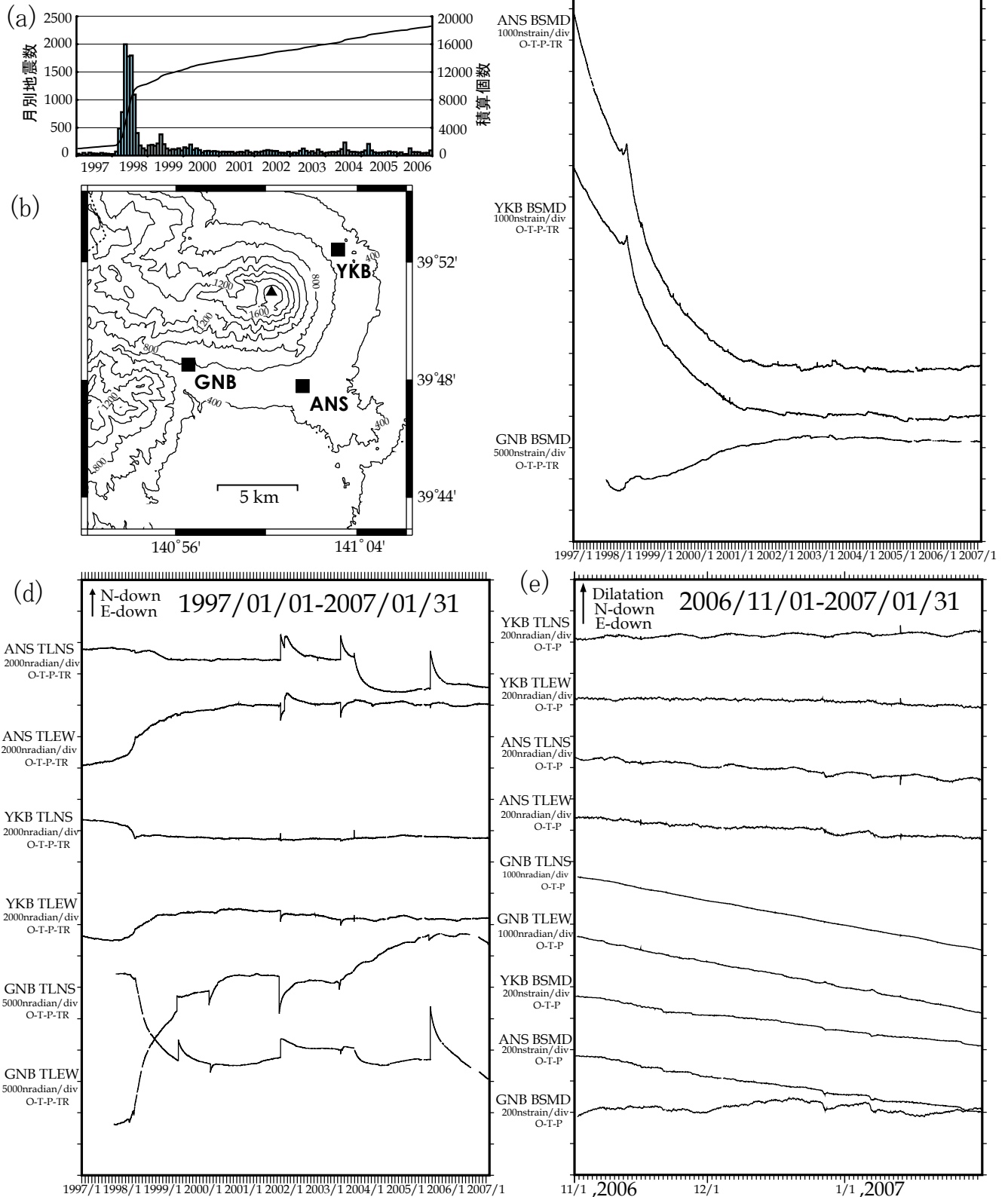


図1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動記録。(a) 月別地震数の変化(1997年1月~2007年1月), (b) 観測点配置, (c) 1997年1月1日~2007年1月31日における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2006年11月1日~2007年1月31日の歪・傾斜変動。BSMD:体積歪, TLNS:傾斜南北成分, TLEW:傾斜東西成分。(c), (d)は潮汐・気圧・トレンド補正済。(e)は潮汐・気圧のみ補正済。トビをともなう変動は有感地震の影響。

2006年7月頃から、一切経山南山腹下浅部で、微小地震が群発している。この中では、卓越周波数約3 Hz・継続時間10~20秒の単色地震が繰り返して発生しており、熱水の関与と比較的安定した共鳴体の存在を示唆する。一群の単色地震の中で、10月29日に発生した長尾地震(前回資料参照)の継続時間約80秒間は例外的に長い。

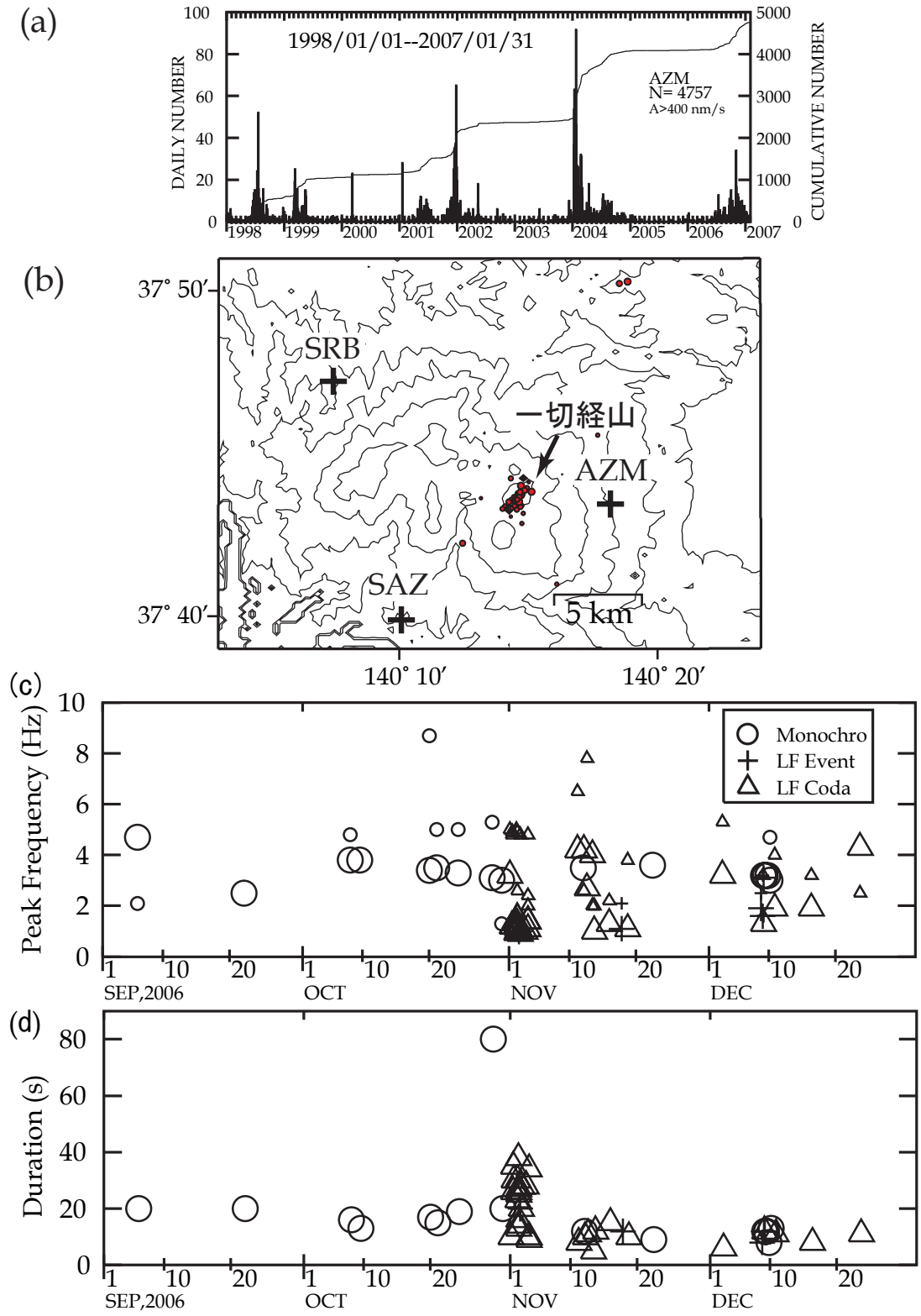


図1. (a) 日別地震回数(1998年1月1日~2007年1月31日), (b) 震央分布(2006年7月1日~12月31日), (c) 吾妻火山観測点(AZM)で記録された単色地震・低周波地震の卓越周波数, ならびに(d) 継続時間(2006年9月~12月).

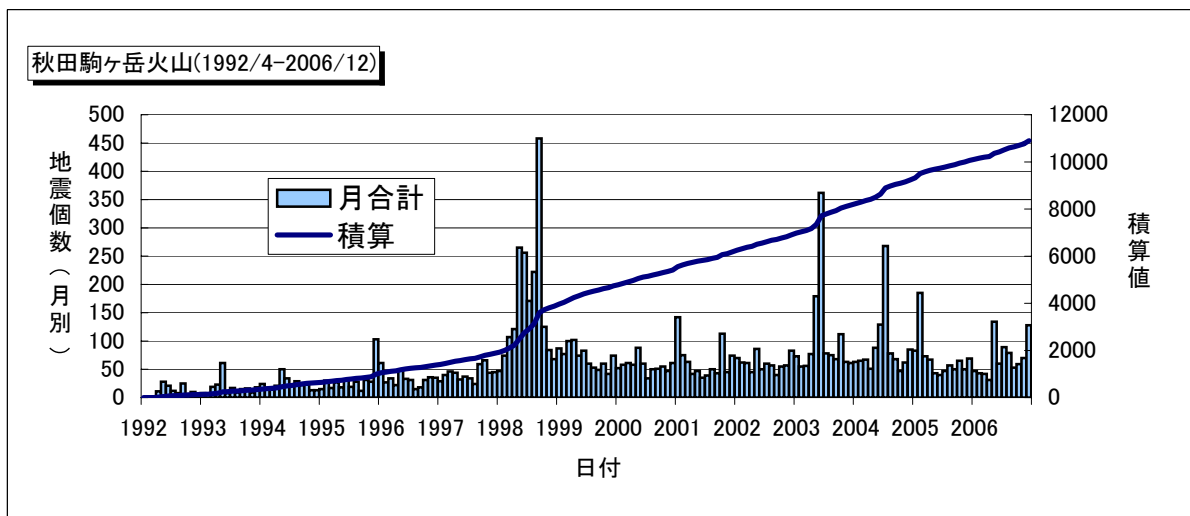
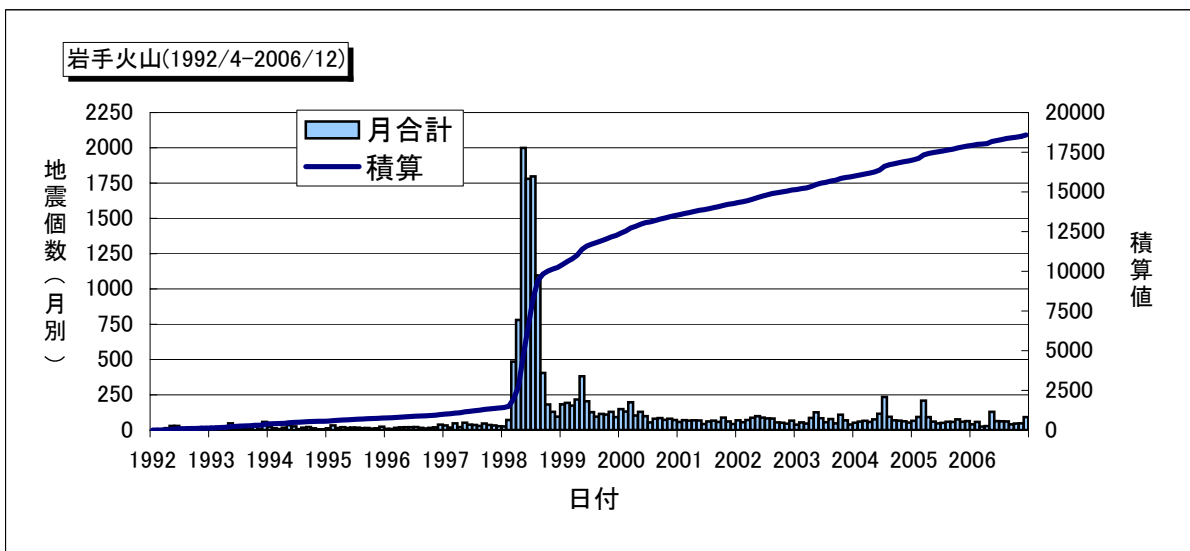
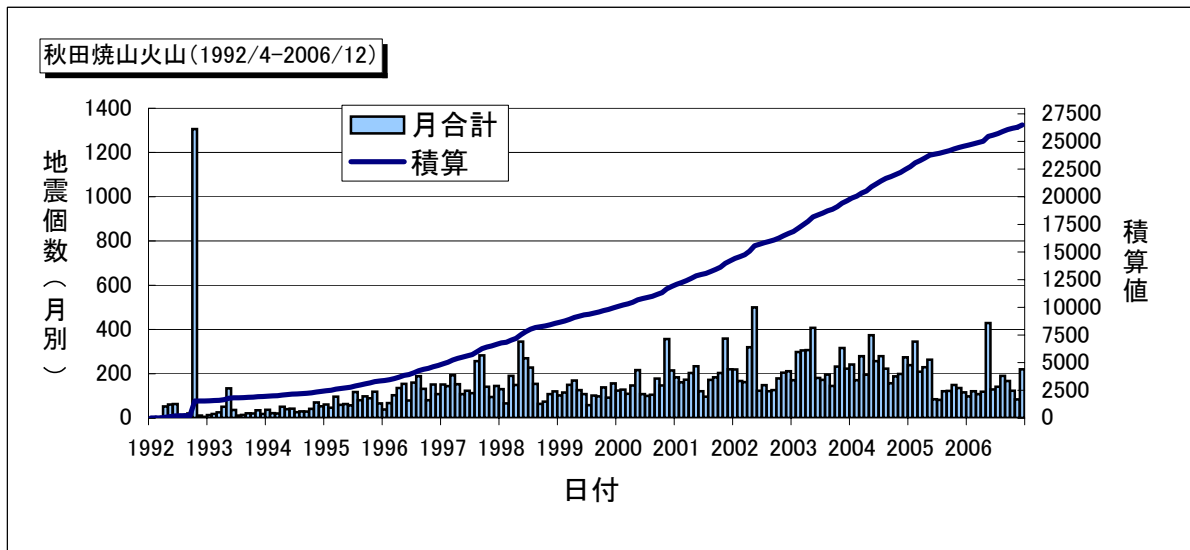


図 1. 秋田焼山火山, 岩手火山, 秋田駒ヶ岳火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における験測期間を火山名の横に示す.

秋田焼山, 岩手山, 秋田駒ヶ岳

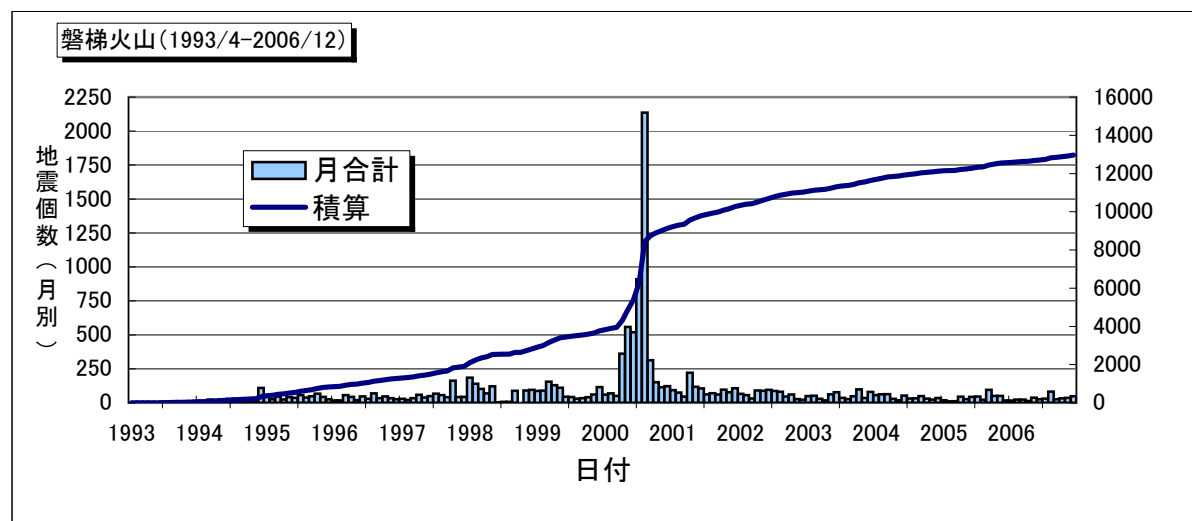
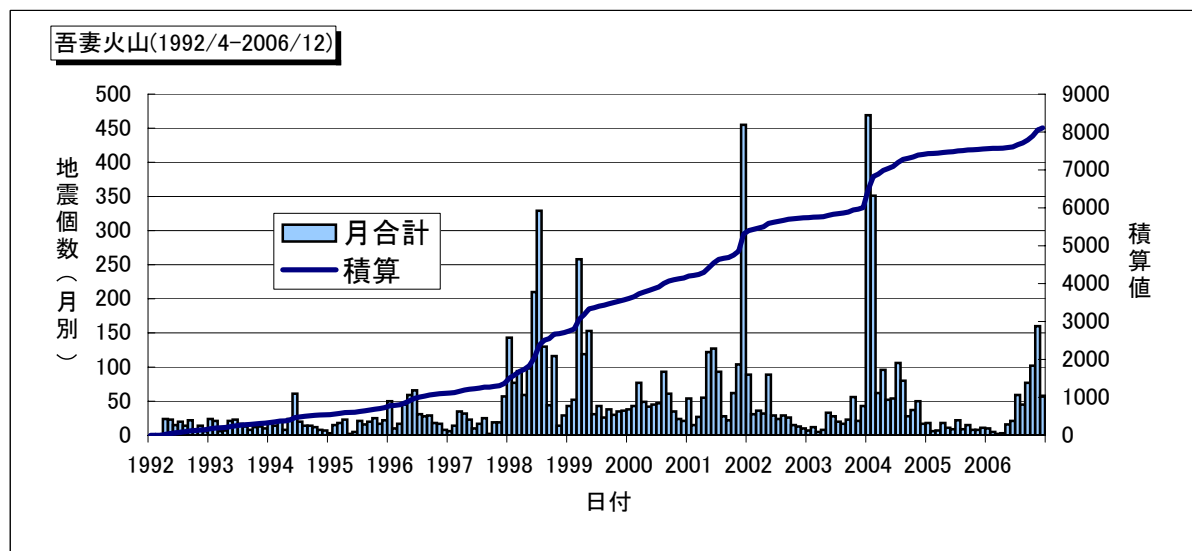
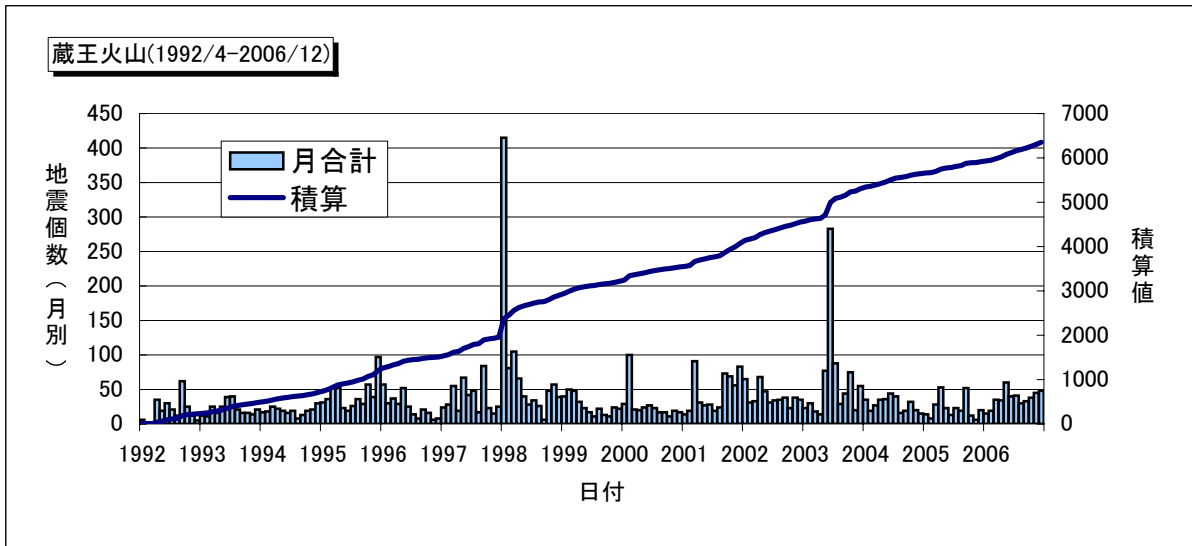


図2. 蔵王火山, 吾妻火山, 磐梯火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における観測期間を観測点名の横に示す.

蔵王山, 吾妻山, 磐梯山